

令和4年度グローバル社会における理学療法士の
活躍に資する事例紹介事業
報告書



公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

令和5年3月1日

令和4年度グローバル社会における理学療法士の

活躍に資する事例紹介事業 事業報告書

令和4年度グローバル社会における理学療法士の活躍に資する事例紹介事業を実施したので、以下に報告する。事業実施にあたり、2回の医療英会話講習会事業報告書も併せて報告する。

報告日：令和5年3月29日

報告者：公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 社会職能局 国際支援部担当理事 當間智史

概要

事業・取り組みの概要（目的、意義、内容）を簡潔にまとめてご記入ください。

目的：各会員が英会話力を身につける事で、より有益な理学療法を外国の方にも提供する事が出来る。

意義：本件は定款第4条第2項理学療法士の職業倫理の高揚を図り、学術及び技術の向上に関する事業に基づき、国際支援に関する事業として実施する。

内容：上記事業目的のもとに、令和4年7月に医療英会話講習会を開催。より多くの会員へ本講習会の事業目的を提供する為に、事前講習会を開催し、講習会の中でアンケートも聴取。その内容も参考に本講習会を開催。実施後アンケート聴取し、次年度英会話講習会の運用へ反映・発展させて行く。

国際活動、グローバリゼーション、予防・ヘルスケア

国際活動、グローバリゼーション、予防・ヘルスケアの観点から、どのように公益へ貢献されているか、または人の健康などへ関連しているか、簡潔にご記入ください。

当協会は、士会会員の言語能力向上の推進、訪日・在日外国人に対する理学療法の提供、コミュニティでの支援に取り組んでいます。多くの外国人や国際活動をする理学療法士会員の活動サポートをしており、会員・非会員・他職種と公益性のある事業展開をしている。

活動状況・活動準備状況

活動状況を簡潔にまとめてご記入ください。活動の準備をされている場合も、その準備状況について簡潔にまとめてご記入ください。

これまでの活動状況

- ① JICA 沖縄等と共に JICA 草の根技術協力事業「フィジー国理学療法士臨床研修」を実施しました。この事業では、フィジー国の各医療施設の環境調査や理学療法の技術支援・指導が主な活動である。7回、延べ23名の理学療法士を派遣し、沖縄県内の病院や施設での臨床技術研修においては、フィジー人理学療法士・医師・看護師を研修員として計2回、延べ10名受け入れました。本事業は2006年の本県員の青年海外協力隊活動をきっかけに始まった草の根技術協力事業（地域提案型：2008年～2010年）、2011年～2016年の短期ボランティア（事業調査）に続く事業です。
- ② JICA 沖縄と本会の活動報告を通して様々な国際協力活動を知る交流の場として、「おきなわ国際協力・交流フェスティバルの出展」を2010年～2019年まで行って行っていました。出展内容は、フィジー国理学療法士臨床研修内容のパネル報告、体力測定等を参加者に提供し様々な交流を深めました。

- ③ 国際化に対応できる理学療法士の育成と地域貢献に寄与する事業として、アメリカ軍基地内にある病院に勤務するアメリカ人理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を招き、医療英会話や症例検討会を実施しました。さらに、米軍基地内にある病院の施設見学ツアーも行い、コミュニケーションに留まらずにアメリカでのリハビリテーションの実際を学ぶことも出来ました。
- ※2020年よりコロナ禍になり国際的な活動への参加や事業そのものの活動にも制限を受け、活動が出来ない状態でした。

今年度の事業は以下の2つの事業です。

1. 医療英会話講習会（2回開催、理学療法士のみと、他職種含む案内講習会）

- ① 令和4年6月27日開催講習会では、20名参加（内2名学生）。琉球大学病院在籍中にメリーランド大学留学卒業し、沖縄県理学療法士協会国際支援部で活躍中の小山和氏を講師にお招きし、日本とアメリカ等海外の医療制度の違いや初回介入時の対応英文等臨床に繋がる内容を講義して頂いた。また、留学方法や奨学金制度、今後留学を検討している方へ有益な情報提供も頂きました。疼痛評価を例に、表現する単語の種類で程度や質を表現する幅が増え、理学療法を展開する上でも疼痛評価の分析に重要な内容でした。
- ② 令和4年7月29日開催講習会は、前回同様20名参加（内2名学生）。米国加州ロマリダ大学理学療法学科卒業後、アメリカでの臨床経験後帰沖。アドベンチストメディカルセンターでの臨床の傍ら養成校非常勤講師として活躍後、現在琉球リハ那覇校学院長を務めている宮城嗣高氏をお招きし、前回講習会の復習や参加者アンケートへの回答も行い、繋がりのある講義をして頂きました。発音の仕方やカルテ記録の読み取り（SOAPクイズ）等を双方向に行い、参加者も多くの体験ができ、時間を忘れる程楽しい時間を共有出来ました。病院用語や医療関連英語等、沢山の語彙を紹介頂きました。

2. JICA フェスティバル2022（現地対面）への参加、意見交換会（オンライン）

事前案内としてFAX通信・協会HP・SNS（Facebook・LINE等）活用し広報したが、参加者は部員のみ6名と少ない状況でした。内容は、前年度オンラインのみであったが、現地参加する事によって、参加者の年齢層や熱量、青年海外協力隊としての活動、発展途上国の現状等経験出来て有意義な報告会でした。また、次年度JICAフェスティバル出展に向けて多くの意見交換ができ、広報についても会員が興味関心を感じてもらえる内容を企画する事など議論が出来ました。

理学療法の知見

応募する事業・取り組みにおいて、どのように理学療法の知見が応用されているか、簡潔にまとめてご記入ください。

沖縄県では米軍基地があり、観光業が盛んである事、技能実習生を受け入れている事など、各医療・介護施設で理学療法士が外国人対応する機会が多い。その為、会員・非会員の日常医療英会話のスキルを向上させる事により、外国人患者への対応を充実させ、理学療法の重要な要素である問診や安心・信頼を与えるコミュニケーションスキル、評価・治療の説明の伝わり方が上がる等の効果を高める事が出来る。

職能的意義、職域拡大

応募する事業・取り組みが理学療法士の職能的意義、職域拡大に対してどのように寄与するのか、簡潔にまとめてご記入ください。

上記説明の様に、グローバルに対応出来る理学療法士の育成、そこから国際スポーツ大会で活躍する理学療法士のサポート、これから海外で活躍したい理学療法士のモチベーション向上やサポート、これから新たな職域へ挑戦する（青年海外協力隊や国外大学の学位取得等）理学療法士のきっかけに寄与する。

活動実績

組織としてのこれまでの活動実績を簡潔にまとめてご記入ください。

- ① JICA 沖縄等と共に JICA 草の根技術協力事業「フィジー国理学療法士臨床研修」を実施しました。この事業では、フィジー国の各医療施設の環境調査や理学療法技術支援・指導を主な活動とし、理学療法士派遣で計 7 回、延べ 23 名の派遣を行い、沖縄県内の病院や施設での臨床技術研修においては、フィジー人理学療法士・医師・看護師を計 2 回、延べ 10 名、研修員として受け入れました。本事業は 2006 年の本件会員の青年海外協力隊活動をきっかけに始まった草の根技術協力事業（地域提案型：2008 年～2010 年）、2011 年～2016 年の短期ボランティア（事業調査）に続く事業です。
- ② JICA 沖縄と本会の活動報告を通して様々な国際協力活動を知る交流の場として、「おきなわ国際協力・交流フェスティバルの出展」を 2010 年～2019 年まで行って行っていました。出展内容は、フィジー国理学療法士臨床研修内容のパネル報告、体力測定等を参加者に提供し様々な交流を深めました。
- ③ 国際化に対応できる理学療法士の育成と地域貢献に寄与する事業として、アメリカ軍基地内にある病院に勤務するアメリカ人理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を招き、医療英会話や症例検討会を実施しました。さらに、米軍基地内にある病院の施設見学ツアーも行い、コミュニケーションに留まらずにアメリカでのリハビリテーションの実際を学ぶことも出来ました。

その他の項目

実施体制（必須事項ではありません）

国際事業の実施、管理体制などについて可能な範囲でご記入ください（例：委員会組織がある、事務局支援、活動謝金など費用支払いの有無、その他）。

社会職能局内に設置。活動資金は会員会費が主で、講師謝金や日当などの支払いあり。
現在は、JICA 沖縄との連携が乏しい為、今後そちらとの連携強化が課題。

参考資料（必須事項ではありません）

応募事業・取組みに関して、参考となる資料（例：写真、URL、報告書 その他）があれば添付してください。

6 月 17 日、7 月 29 日事業報告書添付。

以上

(公社)沖縄県理学療法士協会 事業報告書

提出日:令和 4 年 6 月 27 日	報告者:小林 遼
事業名:医療英会話講習会	
事業目的:各会員が会話力を身につける事で、より有益な理学療法を外国の方にも提供する事が出来る。本件は定款第 4 条第 2 項理学療法士の職業倫理の高揚を図り、学術及び技術の向上に関する事業に基づき、国際支援に関する事業として実施する。	
担当局:社会職能局	担当部:国際支援部
事業内容	
[事業概要] 上記事業目的のもとに、令和 4 年 7 月に医療英会話講習会を開催。より多くの会員へ本講習会の事業目的を提供する為に、事前講習会を開催し、講習会の中でアンケートも聴取。その内容も参考に本講習会を開催。実施後アンケート聴取し、次年度英会話講習会の運用へ反映・発展させて行く。	
[実施時期] 事前講習会:令和 4 年 6 月 17 日(金) 19:00~20:30	
[対 象] 沖縄県理学療法士会員・沖縄県内の理学療法士育成校在学学生	
[場 所] オンライン配信(Zoom)	
[内 容] 日本と海外の医療制度や文化の違いを踏まえ、実際に初回介入時の対応を使いやすい英文で紹介。さらに留学方法や奨学金制度等の案内の紹介。	
[参加者] 定員:30 名 参加者:20 名 ※参加者名簿別紙参照 会員・学生:無料「ただし、令和 4 年度沖縄県理学療法士協会会員ならびに会費納入者」 非会員:5,000 円	
[案内方法] FAX 通信・協会 HP・SNS(Facebook・LINE 等)	
[関係機関] 無し	
[備 考] 講師:小山 和 氏(琉球大学病院) 管理:當間 智史(中頭病院) 小林 遼(大浜第二病院)	
[アンケート結果] 別紙参照(Google フォームで研修会当日 QR コード、翌日メール案内)	
[所 感] 今回は20名の参加(内2名学生)で講習会を開催し、日本と海外の医療制度や文化の違いを踏まえた、実際臨床に直結するような、初回介入時の対応を使いやすい英文紹介された。さらに留学方法や奨学金制度等、今後留学を考えている方へ多くの情報を提供して下さいました。 文化の違いを知る中で、まずは対象となる患者の国のことを知ることからコミュニケーションが始まるということも理解でき、何に困っているかを予測できることの重要性を感じました。また、日本語でも疼痛の評価	

は重要であり、会話を通して疼痛源を考察していく中で、英語での疼痛の表現の多さには難しさも感じました。しかし、今回の講習会で疼痛を表現する単語の種類やレベルを知ったことで、表現のバリエーションが増えたように感じます。

質疑応答では、多くの受講生からの多種多様の質問がありました。多くの質問を通し英語への勉強方法なども共有でき、大変有意義な講習会となりました。コロナ禍で外国人との交流が難しい中、本講習会が英語スキルをアップするきっかけになると実感しました。

大浜第二病院 小林 遼

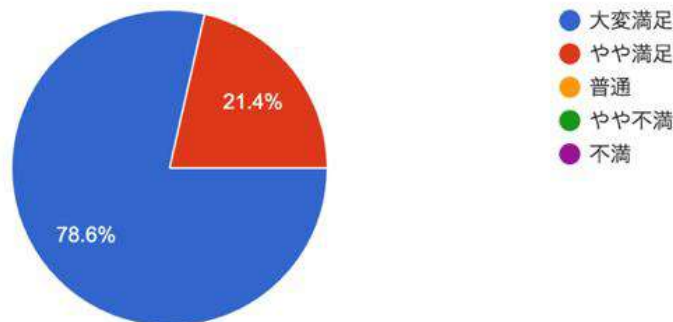
(公社) 沖縄県理学療法士協会 収支報告書

事業名：医療英会話講習会					
担当局：社会職能局			担当部：国際支援部		
内 容					
収 入	項 目	予算額	決算額	差 額	内 訳
	事業費	¥38,000			
収入額合計		¥38,000			
支 出	項 目	予算額	決算額	差 額	内 訳
	講師謝金（事前・本講習会）	30,000			事前：小山和 認定理学療法士（呼吸）
	スタッフ日当（事前・本講習会）	8,000			事前： 小林遼・當間智史 4,000×2名＝¥8,000
	事前会議	1,000	1,000	0	5/16(月)業務委譲会議 として計上 500円×2名×1回＝ 1,000円
	FAX 通信費	-			6/17 講習会前2回案内
支出額合計		¥39,000			

アンケート結果

研修会全体の満足度はいかがでしたか？

14件の回答



上記質問で回答頂きました理由を教えてください。12件の回答(原文そのまま記載)

- ・全体的に網羅されていて臨床で外国人と関わる 上でとても参考になる内容だった為。
- ・診療で使う会話を適切ではない使い方も含めて提示して非常に勉強になったため
- ・病院で勤務している際に必要な文章や単語を教えてくださいました。また、難しい単語ではなく、分かりやすいもので十分伝わるのだということを教えてくださいました。
- ・英語の発音や、会話などの資料があって、今後役に立つものと思いました。
- ・日常ですぐに使える資料もあり、実践できそうな内容だったので。
- ・外国との文化の違いと語学の関係性から学ぶことができ大変面白かったです。また、英語でどのように患者さんとリハビリすれば良いかも今回の資料を参考に行いやすくなりそうです。質疑応答でも多くの質問を通してさらに深く内容を知ることが出来て大変勉強になりました。
- ・学生の僕らでもわかりやすく説明してくれて質問もしやすい雰囲気だったからです。
- ・とても分かりやすく、楽しかった。
- ・臨床場面で外国人患者さんの対応をするときに即使える素晴らしい内容でした。時間の都合もあったかと思いますが、発音する機会などもあるとさらに面白かったかと思います。
- ・実践的な英会話が楽しく学べました。
- ・経験談などもあり参考にしやすい内容だと感じたから。
- ・臨床の場で使える英語を知ることができ、これからも使っていきたいと思ったからです。

次回、7/29 講習会で取り入れて欲しい内容を教えてください。14件の回答

- ・外国人患者さんとの英会話上達のポイント
- ・医療の中での独特な言い回しなどがあれば知りたいです。
- ・ROM の運動方向を英語でも覚えましたが、実際に患者さんに動かして欲しい方向を伝えると、上手く伝わらない事がありました。そういった様な、習った英語と実際に使う英語で違いなどがあれば、教えてくださいたいです。
- ・医療英単語
- ・英語はまず単語からということをお教わりしました。覚え方は学生の頃は単語帳などを使って覚えていましたが、その方法が良いのか教えてくださいたいです。
- ・会話はわかりやすく、端的にということでしたので、セラピーの内容をわかりやすくするためにどうしたらいいか、外国の方に姿勢などの話をしているものかなど、実際場面をお聴きしたいです
- ・やはり、実際に声に出しながら練習したいと思います。

- ・さらにリハビリを行うに向けての単語、特に身体部位や動かし方などを教えて頂きたいです。
- ・今回みたいな感じがいいです。
- ・外国の方を患者様として対応するときの基本的な接遇、1回1回のリハにどれだけの効果を求めているのか？を知りたいです。
- ・日常英会話や初心者向けのコミュニケーション
- ・特によく使用される単語やシチュエーションなどを取り入れていただければ良いのではないのでしょうか。
- ・良くない表現や誤解を招くような言動などあればお聞きしたいです。
- ・入院前の情報収集をするときには、どのような言葉を使うのか

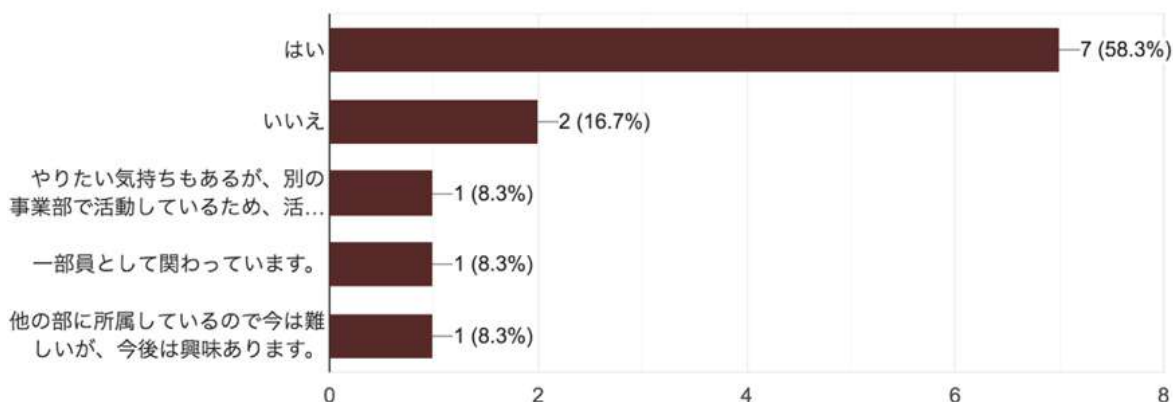
今後の講習会希望内容や国際支援部活動に取り入れて欲しい事がありましたらお聞かせ下さい。

14 件の回答

- ・JICA との共同事業展開
- ・実際の症例とのやりとり(会話)などを聞いてみたいです。
- ・色々な方の経験を聞きたいです。海外で働いた事がある方は、日本と海外の PT の違いなどがあれば、伺ってみたいです。
- ・国際交流の機会
- ・今回のような講習会を定期的に行って頂きたいです
- ・継続して、語学の勉強をしたいです。
- ・外国人講師から何かトピックスを通訳を通してお聞きしたいです。
- ・直接外国の方とお話できる機会とかがあれば嬉しいです。
- ・青年海外協力隊として実際に従事した理学療法士の生の声を聴きたい。青年海外協力隊を終えて、その後の理学療法士との結び付きや視点等を聞いてみたい。
- ・スポーツ国際大会での対応
- ・海外での理学療法の状況や以前行っていたフィジーでの活動内容などの報告等活動を公開していただきたいです。
- ・国際学会について参加経験などがあれば情報が欲しいです。どのくらいの英語力が必要なのか、通訳がいるのか、同時翻訳機能の機器が配布されるのかなど。
- ・海外での理学療法士はどのような取り組みをしているのか。

今後、国際支援部部員として一緒に活動したいです...ました方は国際支援部までお問い合わせ下さい。

12 件の回答



感想またはご質問 8 件の回答

- ・昨今 Dr.が関わる学会ではスライドが英語であったり、オーラルが英語限定だったりするため聴講するにも医学英語の知識が必要になってきています。講義の中でも単語を理解して聞いていくことが大事であると言われており、意識して取り組みたいなと思いました。
- ・講習会へ参加して、英語を学ぼうという意欲がわきました。ありがとうございました。
- ・今回初めて参加しましたがとてもわかりやすく参加しやすい雰囲気だったのでこのような機会があればたくさん参加したいと思います。
- ・とても分かりやすく、また楽しい講義でした。現時点では外国人を患者様として関わる事はありませんが、いつの日かその日が来る事も想定し、妄想の準備から始めたいと思いました。7月29日も参加させて頂きます。
- ・勉強になる内容でとても面白かったです。私自身、代表トレーナーとして、ホスト国スタッフとして2024年にDeafvolleyball世界選手権 in 沖縄を控えており、外国人選手対応などが求められる環境にいるので2024年までに少しでもコミュニケーションが取れるようにしていきたいです。
- ・雰囲気も良くて楽しい講習会でした。ありがとうございました。
- ・初めて参加し、とてもいい経験ができました。自分は1人で言葉もわからない外国人患者の対応を今後はしたいと思っているので、積極的英語分野も学んでいきたいです。

(公社)沖縄県理学療法士協会 事業報告書

提出日:令和 4 年 7 月 29 日	報告者:小林 遼
事業名:医療英会話講習会	
事業目的:各会員が英会話力を身につける事で、より有益な理学療法を外国の方にも提供する事が出来る。本件は定款第4条第2項理学療法士の職業倫理の高揚を図り、学術及び技術の向上に関する事業に基づき、国際支援に関する事業として実施する。	
担当局:社会職能局	担当部:国際支援部
事業内容	
[事業概要] 上記事業目的のもとに、令和4年6月の事前講習会とその後のアンケートを元に会員が興味・関心を持つ内容を踏まえ開催。実施後アンケート聴取し、次年度英会話講習会の運用へ反映・発展させて行く。	
[実施時期] 講習会:令和4年7月29日(金) 19:00~21:00	
[対象] 沖縄県理学療法士会員・非会員、沖縄県内の理学療法士育成校在学学生、他職種	
[場所] オンライン配信(Zoom)	
[内容] 令和4年6月に開催された事前講習会での実際の対応方法における復習から始まり、発音のポイントのレクチャーや、実際にSOAPでの記録にどのような内容を示すかをクイズ形式で実施。さらに病院用語や医療関連英語について例文を用いて紹介。	
[参加者] 定員:50名 参加者:20名 ※参加者名簿別紙参照 会員・学生:無料「ただし、令和4年度沖縄県理学療法士協会会員ならびに会費納入者」	

非会員:5,000 円

他職種:1,000 円

[案内方法]

FAX 通信・協会 HP・SNS (Facebook・LINE 等)

[関係機関]

無し

[備考]

講師:宮城 嗣高 氏(琉球リハビリテーション学院 那覇校)

管理:當間 智史(中頭病院)

小林 遼(大浜第二病院)

[アンケート結果]

別紙参照

[所感]

今回は20名の参加(内2名学生)で講習会を開催し、6月に開催された事前講習会での実際の対応方法における復習から始まり、発音のポイントのレクチャーや、実際に SOAP での記録にどのような内容を示すかをクイズ形式で実施して頂きました。さらに病院用語や医療関連英語について例文を用いて多くの語彙を紹介して下さいました。

事前講習会でのアンケートに対しても、ご返答を下さり、発音での注意点や文章を通しての発音の仕方もレクチャーして下さい、前回の事前講習会同様に生きた英語を経験することができました。また、クイズ形式や実際に発音することで、発音の難しさや楽しさも同時に体験することができ、時間の経過を忘れる程でした。

病院用語や医療関連英語について例文の紹介では、多くの語彙を紹介して下さい、普段使っている身体部位の英単語にも多くのバリエーションがあることや、略語に関しても本来の意味を知ることができ、多くの発見がありました。

質疑応答やアンケートを通して、会員も外国人との交流や会話することで自身の英語スキルアップに繋がること、さらにその機会をどのように作るかなど、英語に対する興味・関心があることを実感しました。今後も医療英会話講習会の必要性和、海外に関する内容などの講習会を企画・開催し、会員と共に国際支援部の活性化に繋がれたらと感じました。

大浜第二病院 小林 遼

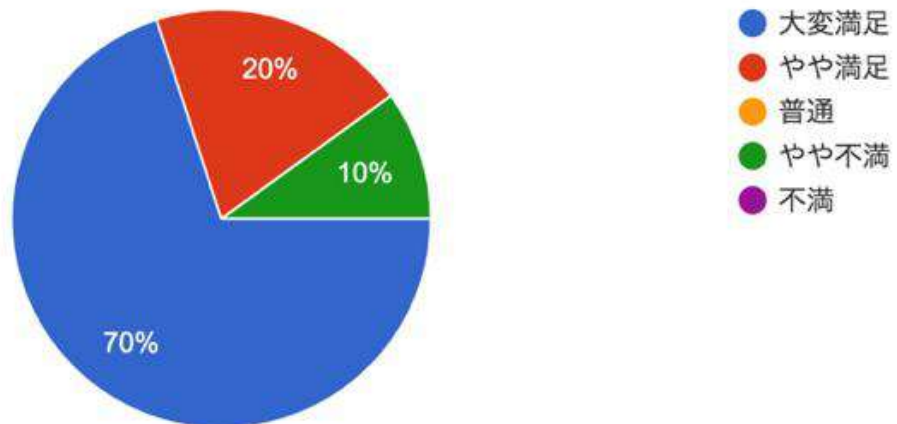
(公社) 沖縄県理学療法士協会 収支報告書

事業名：医療英会話講習会					
担当局：社会職能局			担当部：国際支援部		
内 容					
収 入	項 目	予算額	決算額	差 額	内 訳
		事業費	¥38,000		
収入額合計		¥38,000			
支 出	項 目	予算額	決算額	差 額	内 訳
	講師謝金 (本講習会)	30,000	35,000	-5,000	本講習会：宮城嗣高 学院長 10,000×3=30,000 10,000×1/2=5,000 30,000+5,000=35,000
	スタッフ日当	8,000	8,000	0	小林遼・當間智史 4,000×2名=¥8,000
	事前会議	0	0	0	7/19(火)国際支援部会 議に講師参加打ち合わ せ、その後7/26(火)業 務委譲会議と合わせて 打ち合わせ会議として 計上 500円×2名×1回= 1,000円
	Peatix手数料		0	0	非会員参加者無し
	FAX通信費	0	0	0	6/17講習会前2回案内
支出額合計		¥38,000	43,000	-5,000	

アンケート結果

研修会全体の満足度はいかがでしたか？

10件の回答



上記質問で回答頂きました理由を教えてください。10件の回答(原文そのまま記載)

- ・ 医療英会話の全般的な内容と沖縄に特化した事、勉強の仕方等、幅広く講義して頂き、双方向の内容だったので、とても楽しかったです。
- ・ 実際に声を出しての発音は楽しかったです。コロナが終息したら今度は対面で発音し合ったりもしたいです。
- ・ 盛りだくさんの内容で、発音の説明もあり、実践的な内容だったと思います。
- ・ 英語の長い文章じゃなくても、単語を2つや3つでも会話ができる事を聞いて、外国の方と沢山コミュニケーションを取りたいと思った。
- ・ 英語圏の方と接する勇気がわきました。
- ・ 私は英語がとても苦手なのですが、今回の講習会で、英語が上手く喋れなくても外国人とたくさん喋りたいと思うようになりました。また、臨床で使える医療英語もとても勉強になりました。
- ・ 最後の単語のところは、盛りだくさん過ぎた気がしました。
- ・ 日頃の業務で外国の方と接する機会はこれまでありませんが、ご近所に米国の方がいて、時々片言英語で話す機会があって興味があるのと、英語は知らないより知ってた方が知識の幅が広がると思い、今回参加しました。
- ・ 前もって資料もあったので良かった
- ・ 医療現場で役に立つ内容が少なかった。読み合わせは必要ないと思いました。

今後の講習会希望内容や国際支援部活動に取り入れて欲しい事がありましたらお聞かせ下さい。

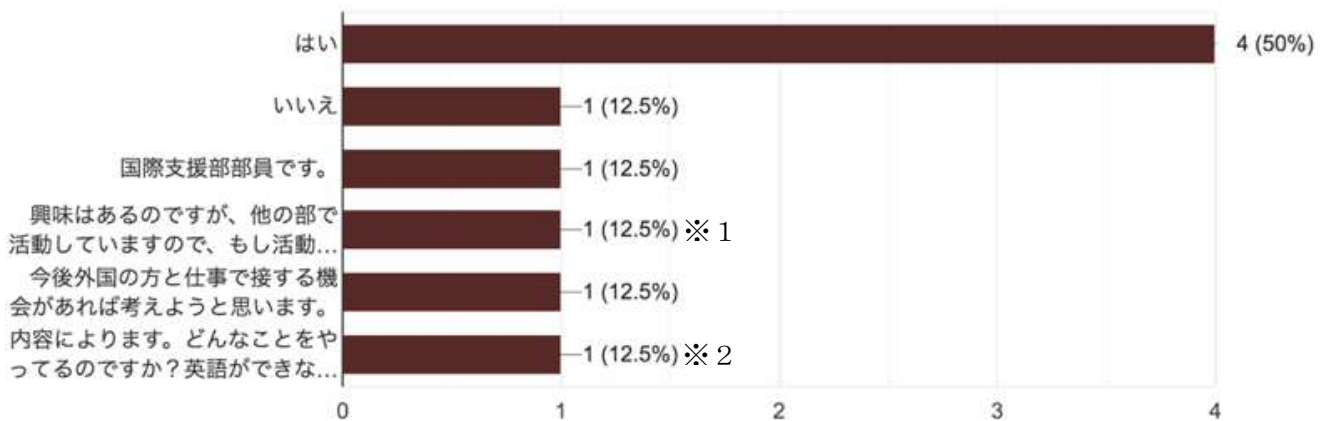
10件の回答

- ・ 医療英会話講習会を継続開催して欲しい。
- ・ 実際に海外で働いたりボランティアに参加された方のお話を聞けると嬉しいです。
- ・ また、このような講習会開催を希望します。

- ・ 実際、日本の病院に通ったことのある外国の方に感想を聞いてみたい。 どういった所が良かったとかまた、ここはもう少し徹底してほしいなどアンケートを取りたい。
- ・ 理学療法士として国際的に活躍できることがあれば教えて欲しい
- ・ 前回や今回の様な講義形式もとても勉強になります。また、あまり英会話が得意でない方などと、どういう風に勉強したり日常で取り入れていたりしているか、聞いてみたいです。
- ・ 本日の内容は私にとって大変勉強になりました。今後も宮城先生を始め、今回のような講習会があればまた参加したいと思います。
- ・ 大きな外人の方を受け入れるにあたって、工夫している事例紹介。(テーブル、ベッド、運動器具など、全てが日本サイズでは足りず、できることが限られていて困っているので)
- ・ 医療現場で話せる英会話教室など

今後、国際支援部部員として一緒に活動したいで...ました方は国際支援部までお問い合わせ下さい。

8件の回答



※1興味はあるのですが、他の部で活動していますので、もし活動できそうな余裕があれば参加してみたいです。

※2内容によります。どんなことをやっているのですか？英語ができなくてもできるのですか？

感想またはご質問 5 件の回答

- ・ 講師の宮城先生お疲れ様でした。司会、運営準備して頂きました小林部長もありがとうございました。
- ・ 沖縄の方は優しい人が沢山いるのですが、少し遠慮しがちで恥ずかしがる人が中にはいるので、こういった医療の仕事をしていくと、国籍が日本だけでなく海外なども繋がっていくので、積極的にコミュニケーションを取りたいと感じました。
- ・ 去年、15年ぶりに沖縄に帰ってきて、初めて沖縄で理学療法士として働いています。沖縄では英語しか話せない患者と出会う機会が多いので、この研修会を機に仕事上必要な英語会話力を身につけられるように、今後は積極的に患者さんや、プライベートでもアメリカ人に話しかけてみようと思います。
- ・ 宮城先生、本日はありがとうございました。数年前ではありますが、学生の頃を思い出して楽しく参加出来ました。60代後半になるんですね、お身体ご自愛ください。
- ・ 宮城先生、相変わらず若々しく、優しくて、久しぶりに姿を拝見できて良かったです。理学療法を行ううえで、よく使う例文をもっと教えて欲しい。私のやる事を真似して下さいの例文は良かったです。みんな日本の病院で働いていると思うのでカルテを英語で書く必要はない。書いても他のスタッフと共有することはできないので、会話の勉強にもっと時間をとって欲しかったなと思いました。